災害 F.A.アンケート ご報告（概要）

NPO法人ピアサポートF.A.cafe

期間　：　2020年11月1日〜11月10日（10日間）

目的　：　食物アレルギーの子ども（１５歳まで）を持つ家族の防災の備えや被災時の不安、情報入手の方法を調査し、行政が取り組む災害対策に働きかける

対象　：　食物アレルギーのあるご家族 / 食物アレルギー児１人につき１回答

方法　：　無記名式/WEBアンケート / 日本全国

報告日：　2020年12月11 日

ピアサポート F.A.cafe 学ぼう 語ろう フードアレルギー

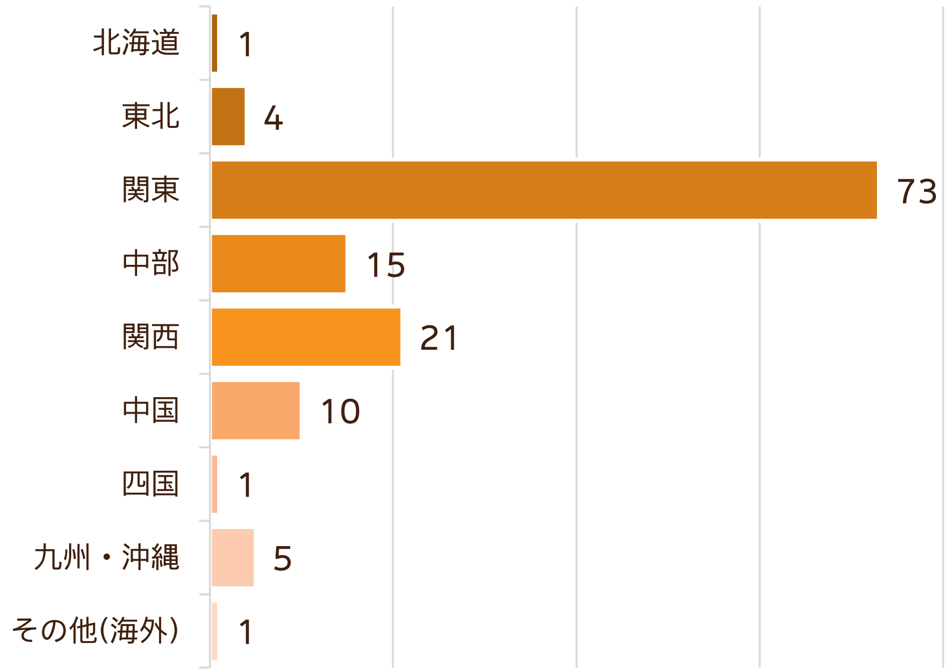
たくさんのご回答をありがとうございます！

回答数　計131人

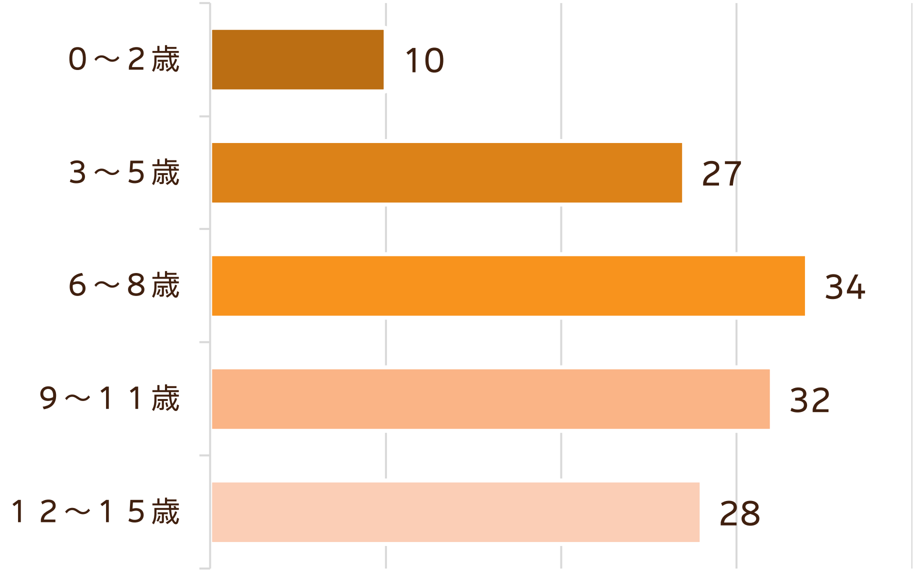
2020年11月1日～11月10日（10日間）

n=131　単位：人

お住いの地域

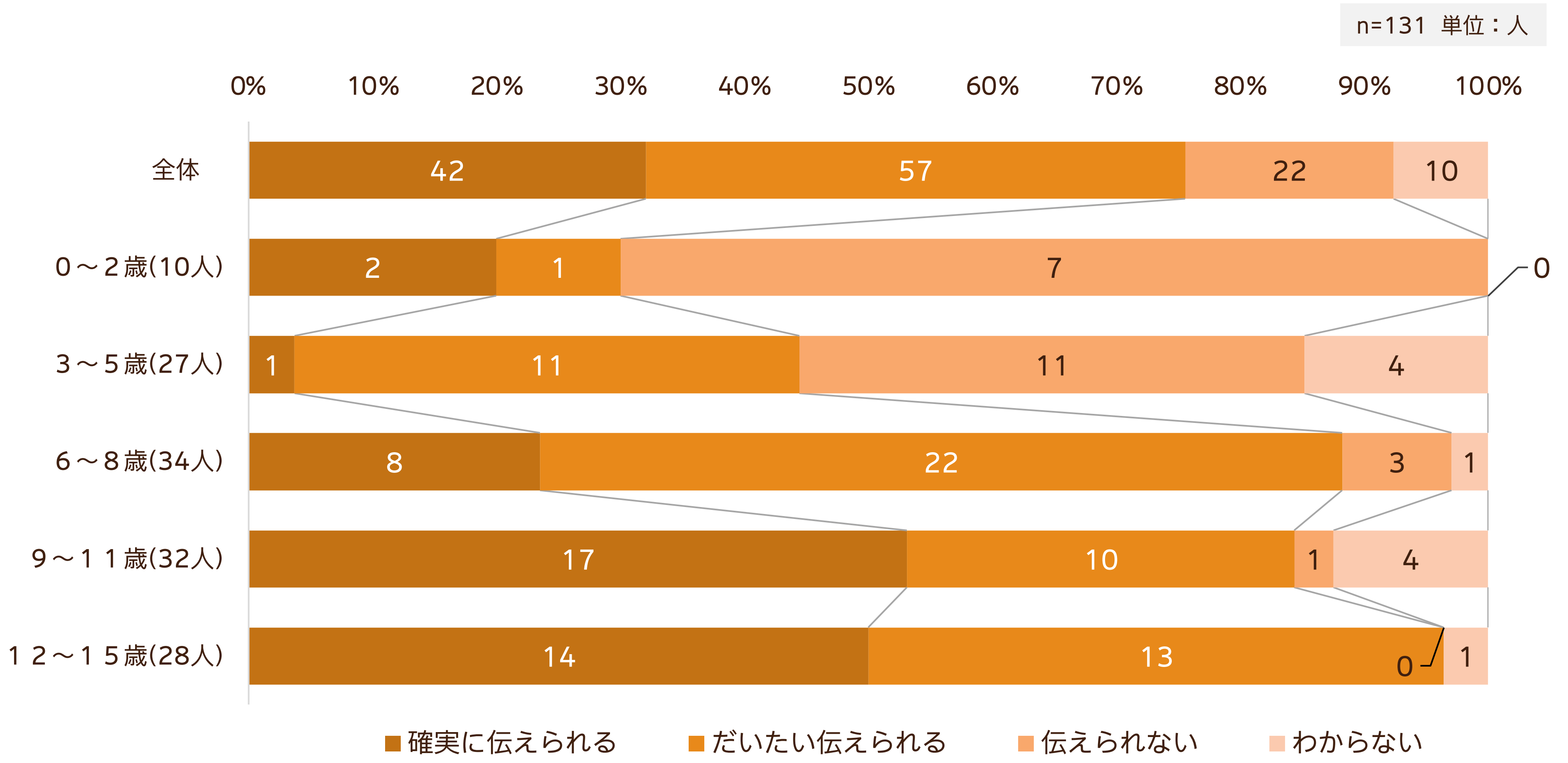


お子さんの年齢



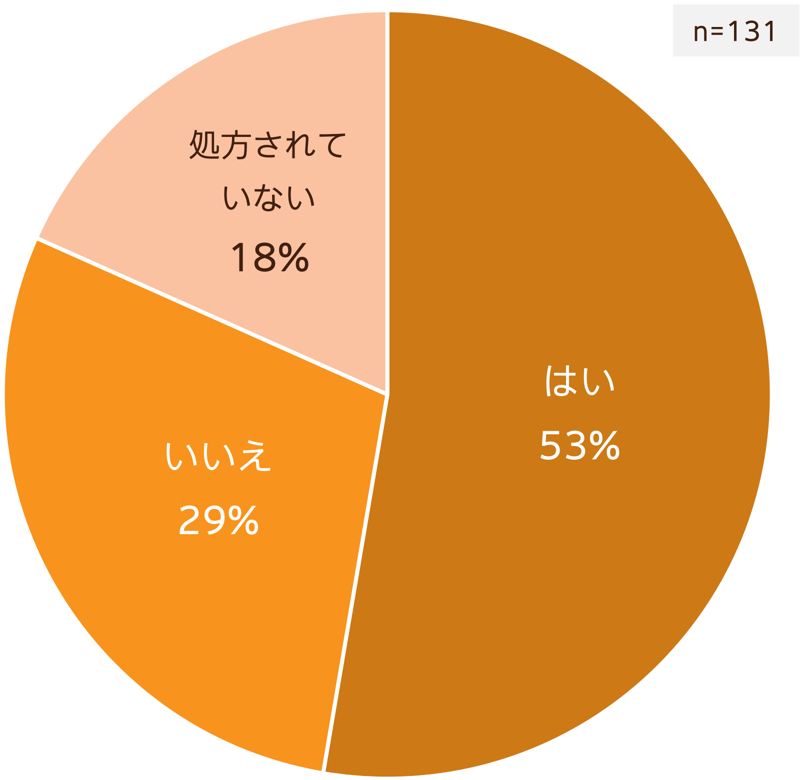
お子さんについて

子ども自身で食物アレルギーを伝えられますか？



お子さんについて

エピペンは患者本人が持っていますか？



保管場所について

園児　園では…
- カバン
- 職員室
- 園に置かせてもらえない

外出時は…
- 母親が管理

小学生　学校では…
- ランドセル
- 職員室
- 保健室

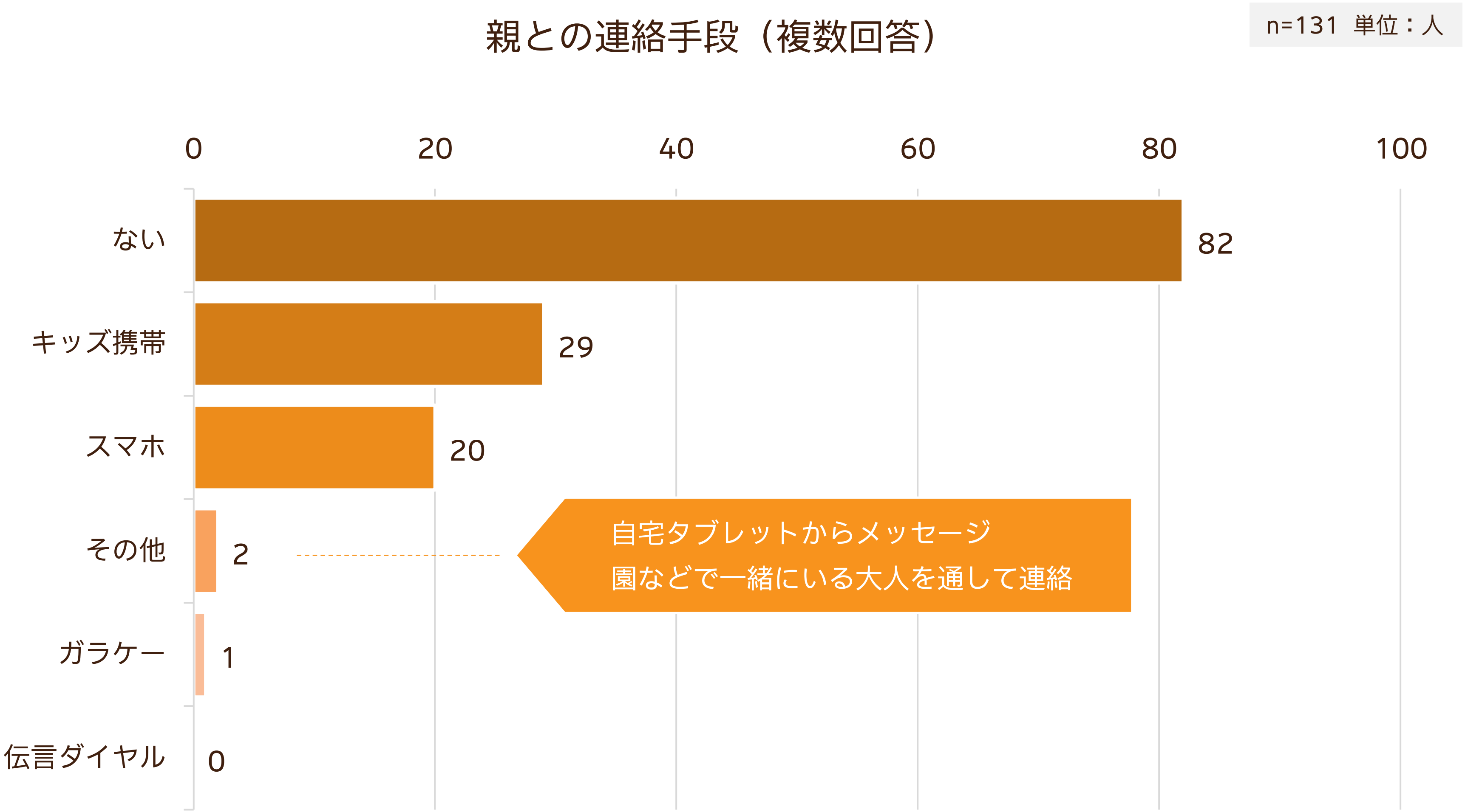
放課後や休日は…
- 飲食をする時だけ携帯
- 食事を伴わなくても携帯
- 習い事などの時は入れ替えて持つ

中学生
- 学校のカバンの中
- 旅行の時は持つが普段の外出は持たない

自宅では…
- リビング
- 薬箱の中
- 避難バッグ

ピアサポート F.A.cafe 学ぼう 語ろう フードアレルギー

お子さんについて

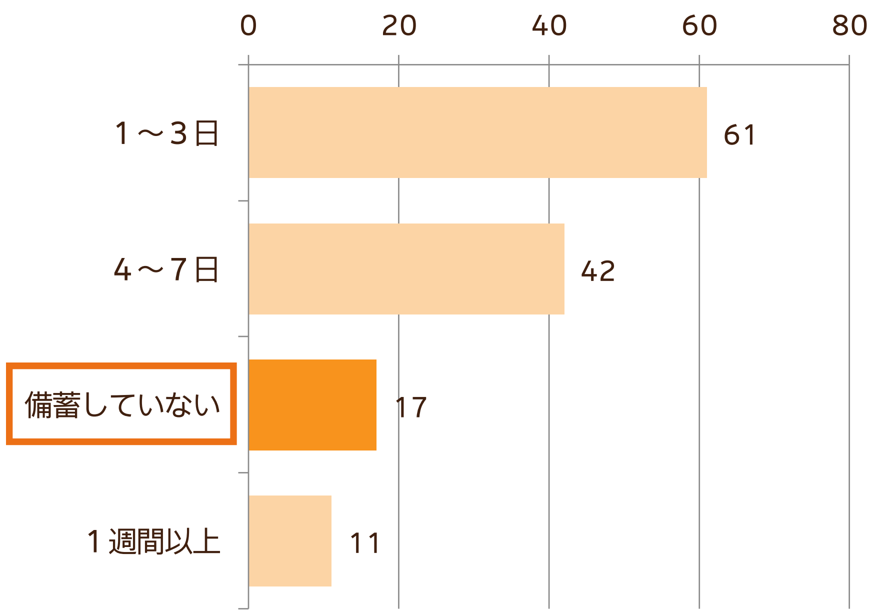


親との連絡手段（複数回答）
n=131 単位：人
0
20
40
60
80
100
ない
82
キッズ携帯
29
スマホ
20
その他
2
ガラケー
1
伝言ダイヤル
0
自宅タブレットからメッセージ
園などで一緒にいる大人を通して連絡

備えについて

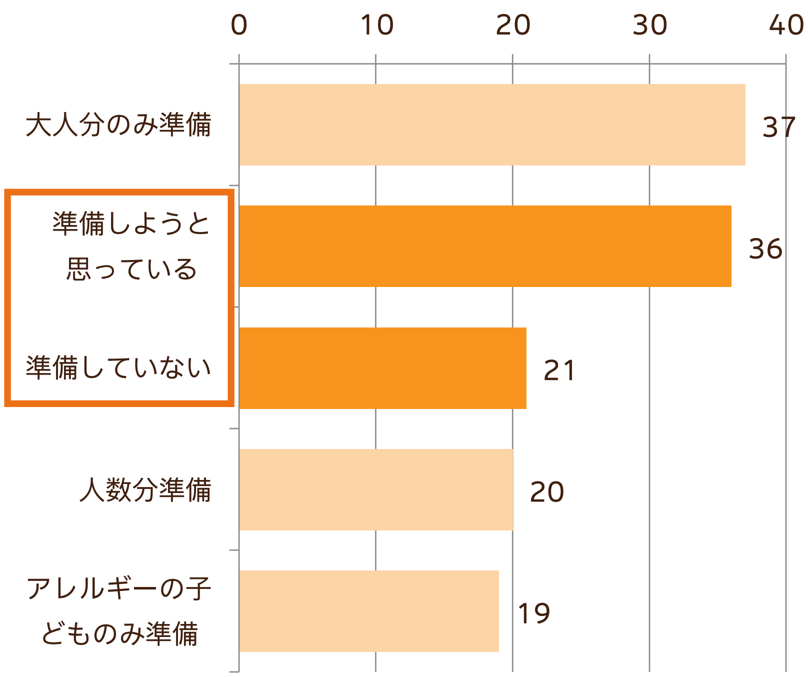
n=131　単位：人

患児の食品備蓄はありますか？



災害リュックを準備していますか？

（複数回答）

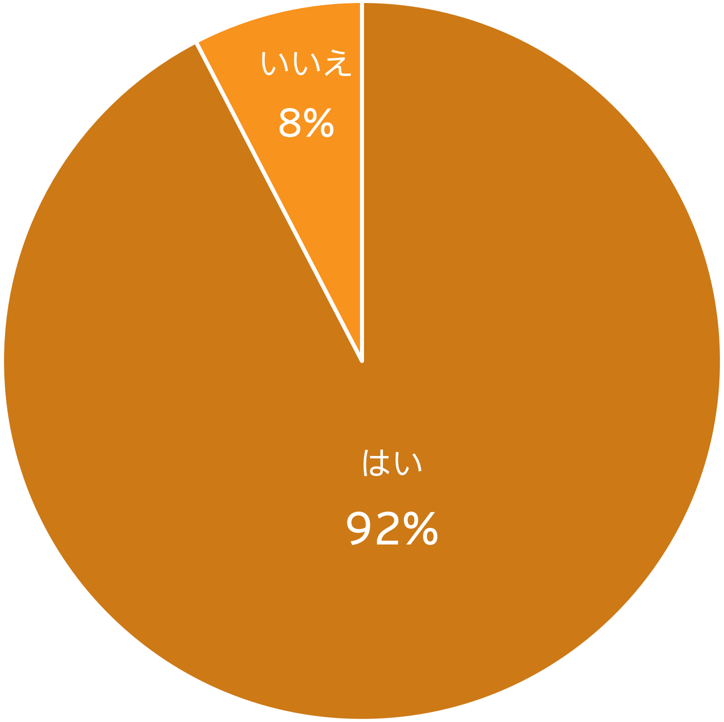


15ページ目でご案内するパンフレットを参考に
ぜひ準備してみてくださいね。

ピアサポート F.A.cafe 学ぼう 語ろう フードアレルギー

備えについて

患児の常備薬の備えはありますか？



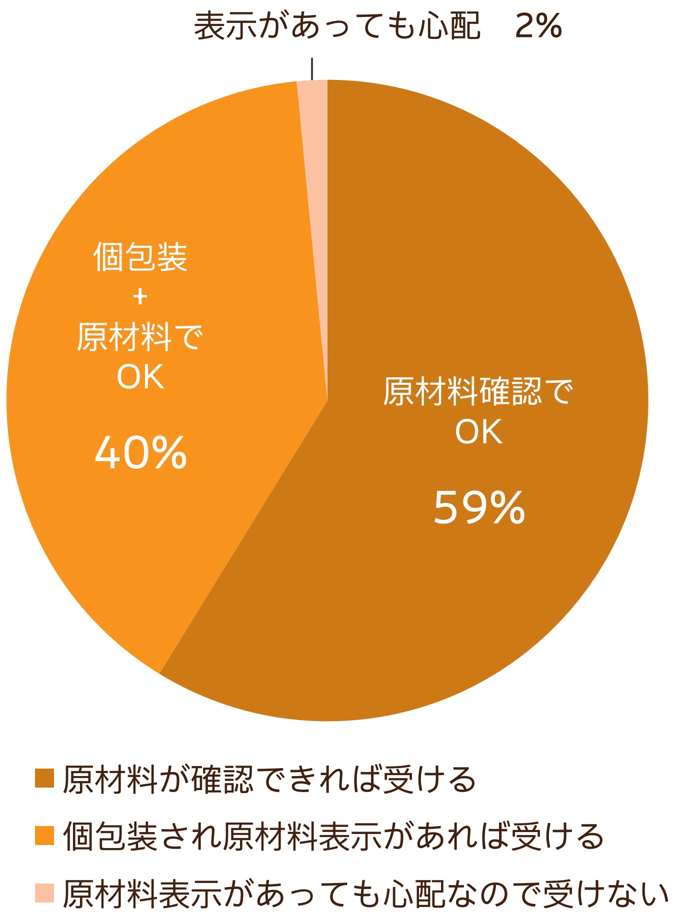
n=131

アレルギー疾患のこどものための「災害の備え」パンフレットでは「自分セット」（災害リュック）に1週間分の薬が含まれています。

季節やお子さんの成長に合わせて常備薬もローリングストックすると良いかもしれません。

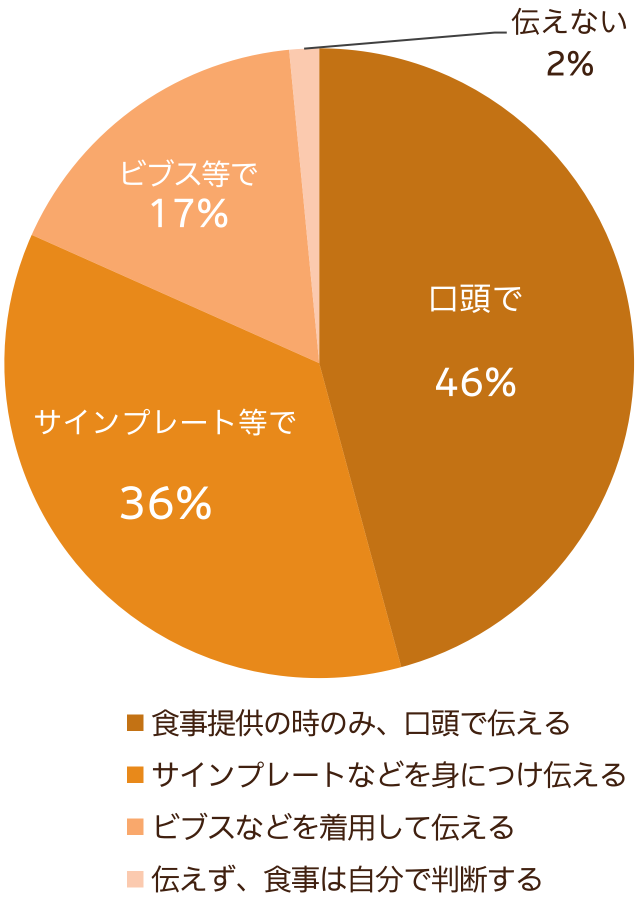
避難所について

食事の提供を受けますか？



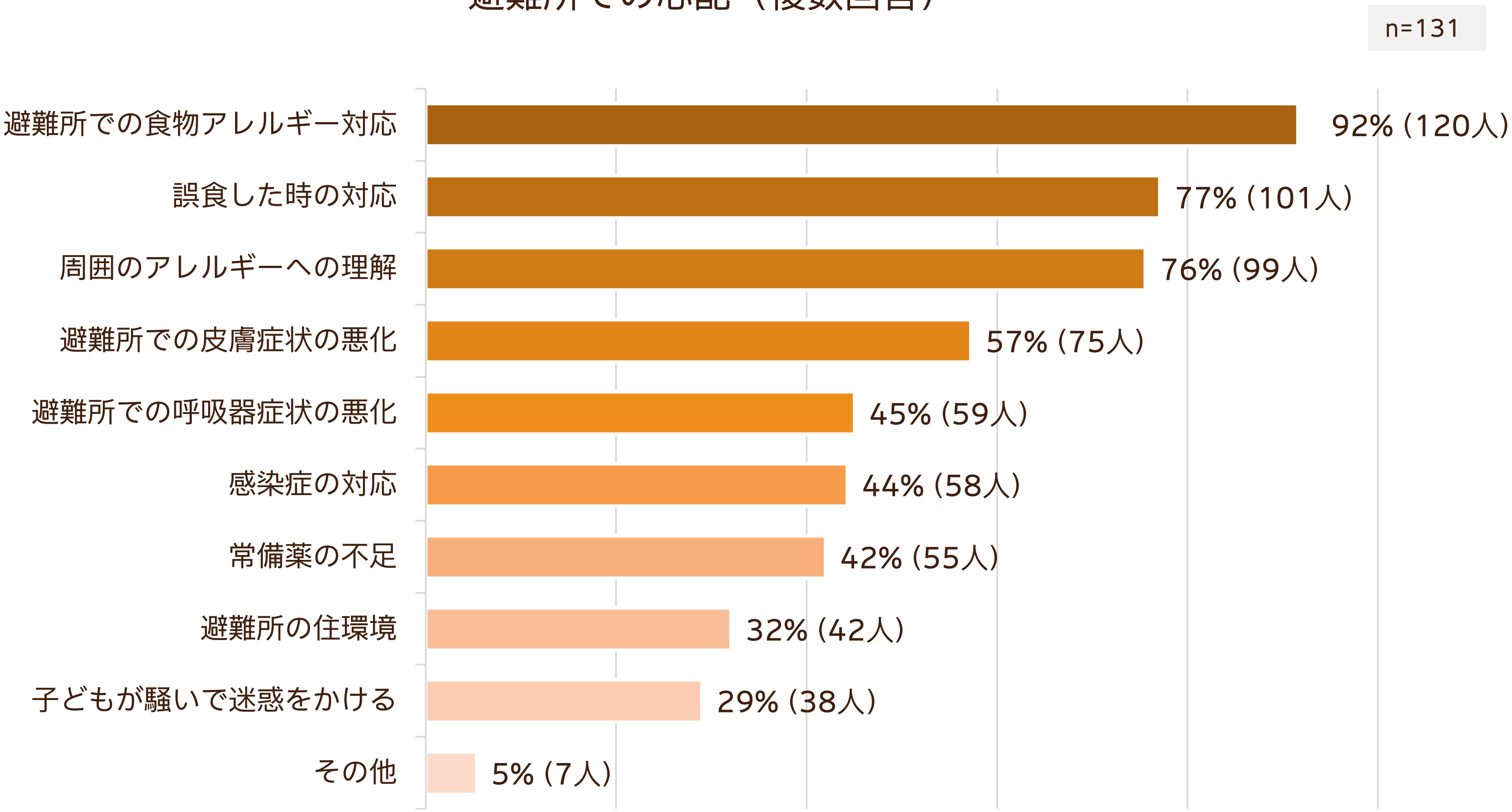
食物アレルギーのことを伝えようと思いますか？

n=131

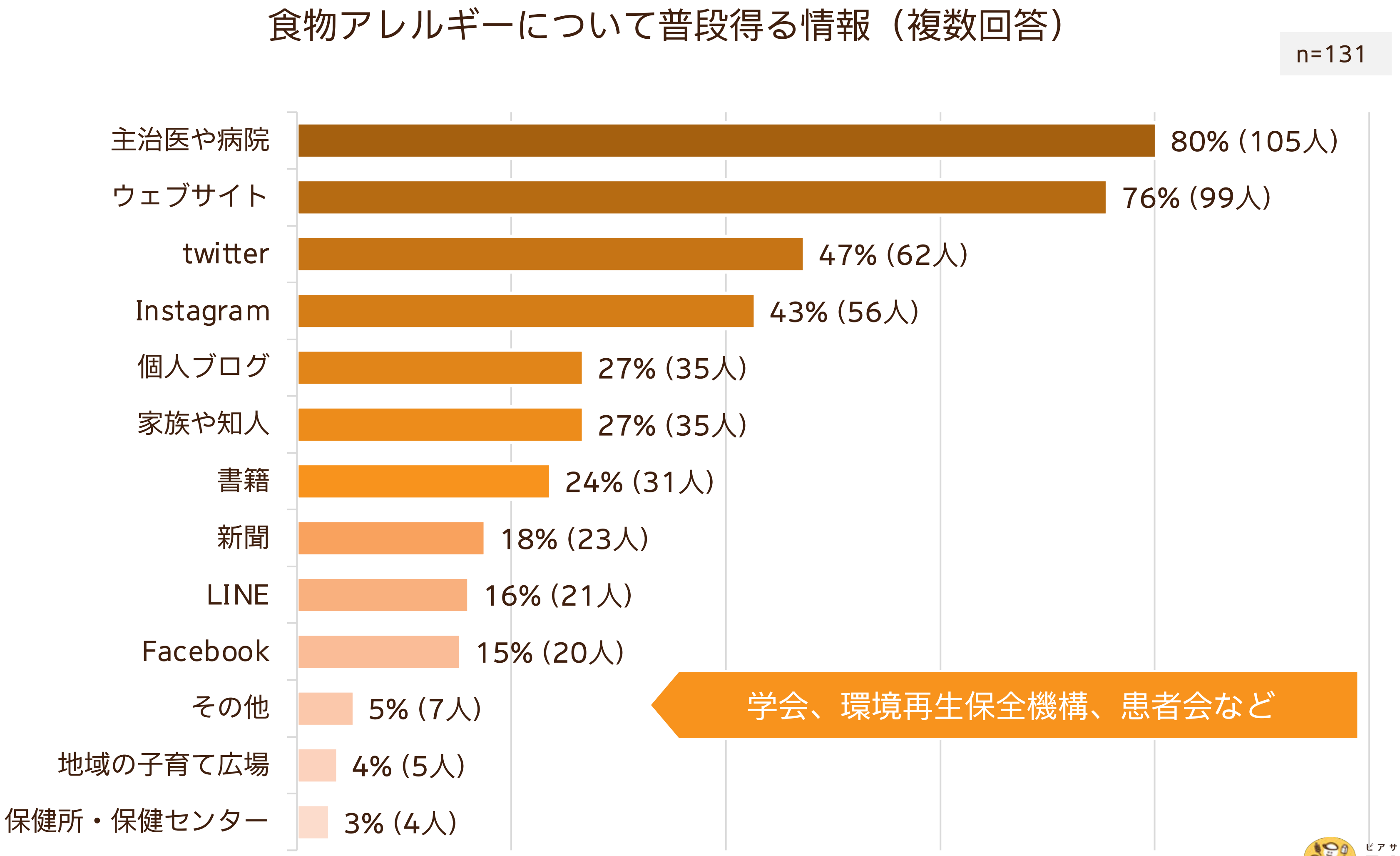


避難所について

避難所での心配（複数回答）



情報について


食物アレルギーについて普段得る情報（複数回答）
n=131
主治医や病院 80%（105人）
ウェブサイト 76%（99人）
twitter 47%（62人）
Instagram 43%（56人）
個人ブログ 27%（35人）
家族や知人 27%（35人）
書籍 24%（31人）
新聞 18%（23人）
LINE 16%（21人）
Facebook 15%（20人）
その他 5%（7人）
地域の子育て広場 4%（5人）
保健所・保健センター 3%（4人）
学会、環境再生保全機構、患者会など

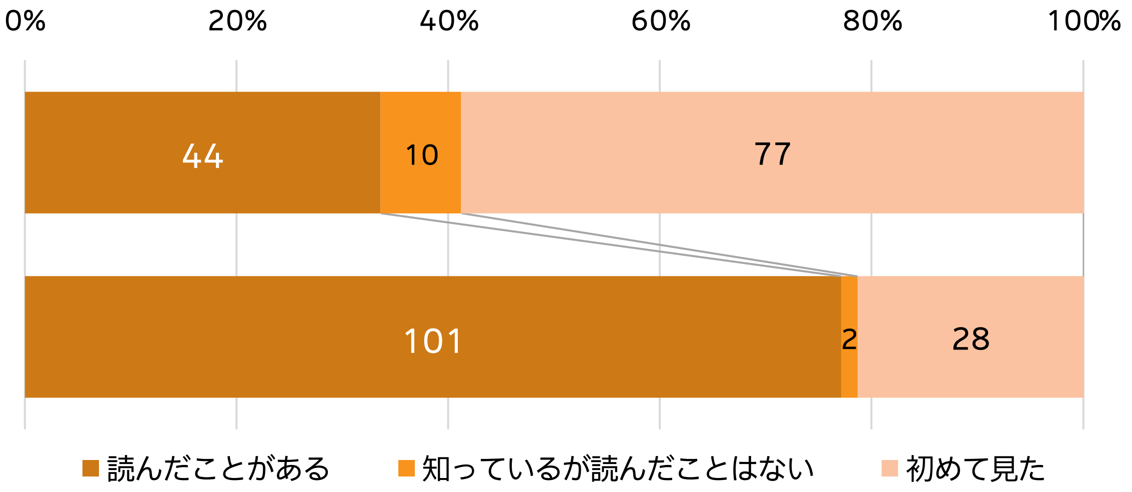
情報について

以下のパンフレットやサイトを知っていますか？

n=131

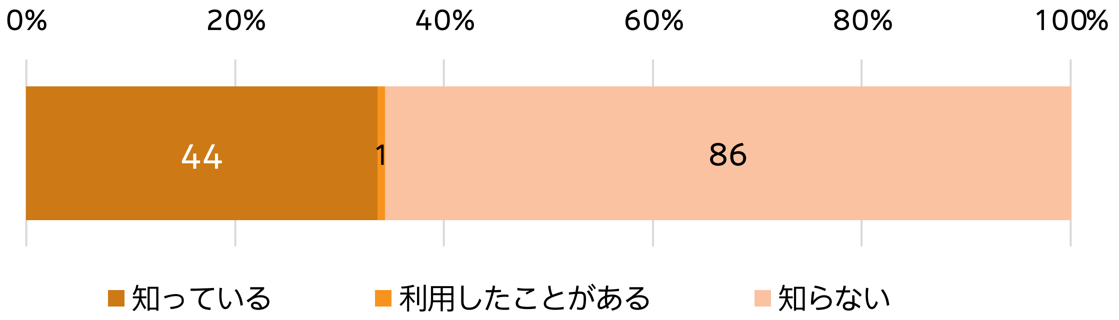
アレルギー疾患のこどものための「災害の備え」パンフレット

食物アレルギー緊急時対応マニュアル



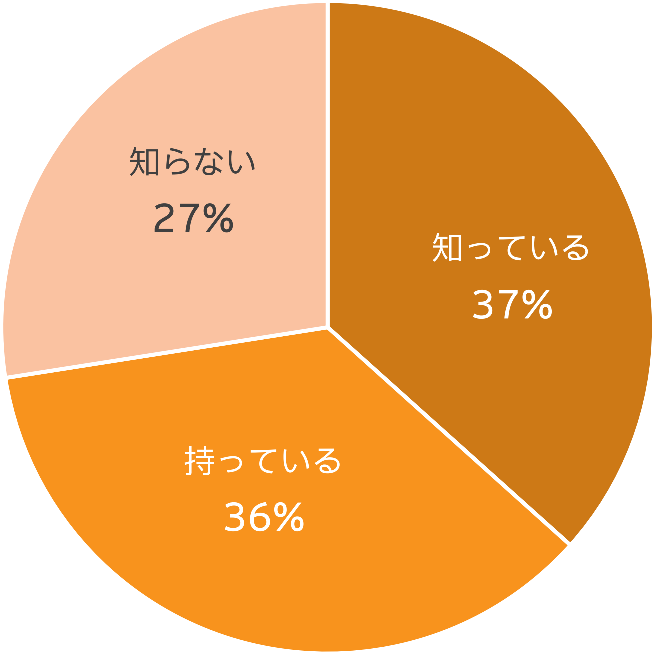
一般社団法人
日本小児アレルギー学会
Japanese Society of Pediatric Allergy and Clinical Immunology

災害時の子どものアレルギーに関する相談窓口

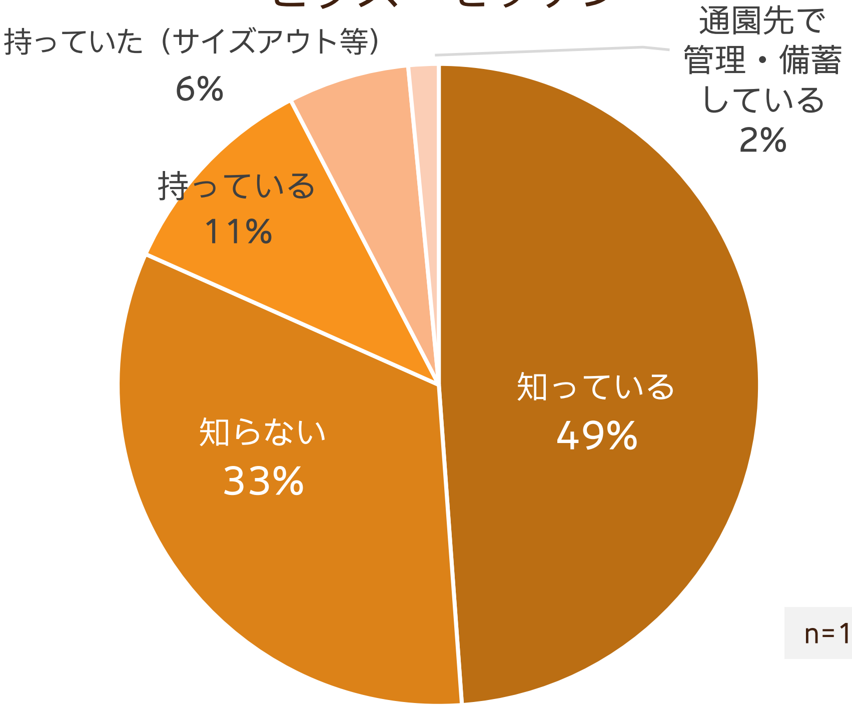


伝えるツールについて

サインプレート



ビブス・ゼッケン



n=131

自由記載 - アレルギーに関する災害時の不安 -

- 原材料の表示の有無：とにかく原材料表示を捨てないでほしい
- アナフィラキシーになってエピペンを打った後の医療を受けることができるか不安
- 子供は無事だが親にもしものことがあった時
- サインをつけることで逆に危険な目にあわないか
- 災害時に周りに理解を求めるのは難しいと思っている
- 周りに理解されなかったら。贅沢言わずに食べさせなさいと言われたら
- 人に頼らなくてもよいようにアレルギー用の災害食は備蓄してるが
  長期の場合など不足分を調達できるか心配
- アナフィラキシー時の対応をどの位シミュレーションされているのか
  どの部署に聞けば良いのか知りたい

自由記載 - 行政や地域への要望 -

- 行政だけでなく、地域社会で、自治会長などのリーダーとなる人へのアレルギー対応など理解を深める講習会
- 患児家族も地域のお当番やご近所づきあい等、普段のつながりの大切さを理解し、文句ばかりでなく活かしてほしい
- アレルギー対応食品の備蓄スムーズで安全な配給
- どのような備えがあるのかわかりやすく示してほしい
  （足りないなら足りないでその状況を知った上で必要な準備をするために）
- アレルギー患者、保護者からアレルギーについての問い合わせがきた時に、各地域や行政でアレルギー担当を設置するか患者会や病院を把握しておき案内ができるようにしておいてほしい
- マニュアルの周知
- 避難所での食事場所の限定
- 食物アレルギーを命の危険のないものと認識されていることが多いし、自身もそう認識してたことがあるから食育などでも取り入れてほしい

アンケート内情報のご案内

アンケートに出てきた参考冊子・サイトのご案内です。QRコードよりダウンロードが可能です。

アレルギー疾患のこどものための「災害の備え」パンフレット

日本小児臨床アレルギー学会
2018.07

◁ PDFダウンロード

食物アレルギー緊急時対応マニュアル

東京都
2018.03

◁ PDFダウンロード

アレルギーポータル 災害時の対応

各省庁のアレルギー×災害に関するパンフレットや取り組み方針を確認できます

◁ サイトへ

アンケート内ツールのご案内

専門医・小児アレルギーエデュケーターの看護師・栄養士の監修を頂き作成しています。
全国の医療機関から、診断を受けた患者さんへ無償で配布しています。
親子で取り組むワーク・クラフト／症状等の緊急時情報・エピペンイラストなど。
配布医療機関、リクエスト方法はHPをご覧ください。

サインプレート

緊急時や災害時に使える冊子つきです。
抱っこした背中でも見えるように。
避難所では様々なビブスを着た人がたくさん。養生テープの上にアレルゲンを書けば繰り返し使用できます。施設での備蓄にも。
HPに無料ダウンロードできるゼッケンタイプもあります。

ビブス

私たちはアレルギー専門医や小児アレルギーエデュケーターにアドバイスをいただきながら、
診療ガイドラインに基づいた小児食物アレルギーに関する啓発活動を行っています。